

めざす子ども像	地域の産業のよさと課題及びそれに携わる人々の願いが分かる。地域の伝統や文化の素晴らしさやそれを守る人々の工夫が分かる。
学年・学期における探究課題	地域の主要産業
単元名	高屋ものしりはかせ 地域の名産を知ろう（全50時間＝実施時期：4月～1月）
単元のねらい	綿花の栽培・収穫や工場見学、デニムに関する体験学習を通して、地域の名産である井原デニムについて知るとともに、地域の良さを積極的に発信しようとする態度を養う。

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		・校区探検をする ・高屋町にデニム関連の工場が多いことを知り、井原デニムについて勉強して、みんなに伝えたいという思いをもつ。 ・デニムの原料である綿花にも興味をもち、栽培する。	・情報機器やゲストティーチャーを活用して、デニムについて調べる。 ・工場見学をして、地域でどのようなものが生産されているかを知る。 ・綿花の活用方法について調べる。	・調べたことを整理し、何を誰に伝えたいかを考える。 ・自分たちの生活を振り返り、調べたことを発信する方法について考える。	・高屋町のパンフレット・ジーンズ新聞等を作成し、ひなまつりウォークの会場に展示させてもらう。 ・綿花で作成した餅花等を雛飾りと一緒に飾る。
仕掛け・工夫	もの	校区探検で、工場が多いことに気付き、興味をもつことができるようにする。	○○○○	○○○○	○○○○
	ひと	○○○○	ジーンズソムリエジュニアの講師の方から、デニムの歴史について話を聞く。	伝える場について6年生に相談し、高屋町の地域のイベントに、まちづくり協議会の方が関わっていることを知る。	○○○○
	しごと（こと）	○○○○	縫製工場の見学を通して、高屋町ではデニム生地衣類の生産が盛んであることに気付く。	○○○○	○○○○
	その他	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
引き出した姿	いばら愛 （郷土愛と当事者性）	○○○○	井原高校生による井原デニムの指導	高屋町の魅力・特産品について多くの人に伝えたいという思いをもつことができる。	○○○○
	やり抜く力 （向上心と忍耐力）	○○○○	自己の決定した課題を意識し、目的意識をもって調べ学習に取り組むことができる。	○○○○	○○○○
	まき込む力 （発信力と協働性）	○○○○	○○○○	○○○○	まちづくり協議会の方に交渉することができる。
アウトプットの工夫		○○○○	○○○○	○○○○	○○○○

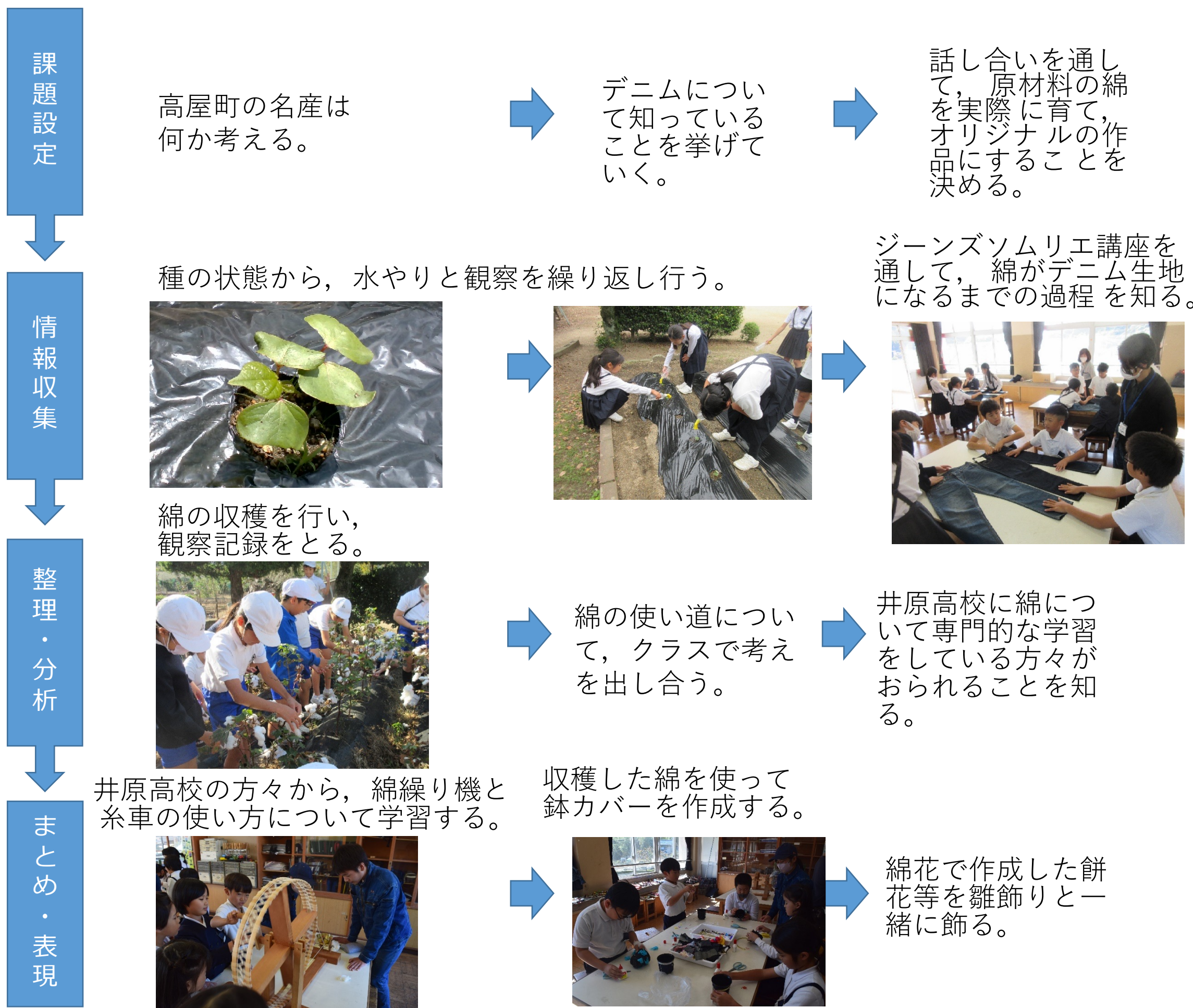
◆ 実際に関連付けた教科・領域、学校行事等

理科	「たねをまこう」
社会科	「校区探検」「工場ではたらく人々の仕事」
国語科	「情報を引用するとき」「はじめて知ったことを知らせよう」

◆ 実際に連携・接続・交流した他学年、他校（園）種、外部団体等

高屋まちづくり協議会に成果物の展示の依頼をする。 6年生と一緒にひなまつりウォークに参加する。
--

◆単元のねらい「綿花の栽培・収穫や工場見学、デニムに関する体験学習を通して、地域の名産である井原デニムについて知るとともに、地域の良さを積極的に発信しようとする態度を養う。」



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 実際に綿を育て、それを作品にすることで、デニム生地や綿に対しての興味関心を高めたり、多くの知識を身に付けたりすることができた。
- 自分たちで育てた綿を使った「もちばな」を作り、地域の行事（ひなまつりウォーク）に参加することで地域を愛する心情を高めた。
- △雛飾りと一緒に飾る綿花での製作物のアイデアが少なかった。
- ☆収穫した綿花を使って地域の良さを発信する方法を増やし、児童が自分たちで決められるような選択肢の幅を広げる。